

小田香
監督KAORI
ODA

ノイズが言うには

鉤 ARAGANE

2つのまなざしが照らす、見えない世界

—— 小田香監督 2作品上映＋トーク ——



小田 香 監督 Kaori Oda

1987年大阪府生まれ。
フィルムメーカー／アーティスト。
タル・ベアラ主宰のfilm.factory第1期生。『鉤 ARAGANE』（2015）が山形国際ドキュメンタリー映画祭・特別賞を受賞。『セノーテ』『GAMA』『Underground アンダーグラウンド』などを発表。2020年に第1回大島渚賞、2021年に芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

ノイズが言うには 2010年 | 38分

23歳の小田香は、自身が性的少数者であることを家族に告白する。母の拒絶、父の沈黙。その出来事を映画にするため、家族とともに「告白」をもう一度演じ直していく。家族と自分自身にカメラを向けた、小田香の原点。

鉤 ARAGANE 2015年 | 68分

ボスニア・ヘルツェゴビナ、サラエボ近郊のブレザ炭鉱。地下300メートルの暗闇に、坑夫たちの身体、ヘッドランプの光、採掘機械の轟音が浮かぶ。小田香が単身カメラを手に坑道へ入り、働く人々と地下世界を見つめた長編デビュー作。

2026
11.7
[SAT]

13:00 - 16:30 (開場 12:30)

日本映画大学 新百合ヶ丘校舎 4F 大教室

上映

「ノイズが言うには」 | 「鉤 ARAGANE」

トーク

小田香監督 (上映後)

参加無料・定員80名 (※要事前申込)

お申し込みはこちら



QRコードよりお申し込み